

## 先天性補体欠損症の患者様へのお知らせとお願い

当院では、厚生労働省の研究班および日本補体学会に協力して「全国疫学調査」を行うこととなりました。この病気の国内における患者数や症状、治療法などを調べ、得られた結果を今後の診療に役立てたいと考えております。

このため、先天性補体欠損症で受診中の患者様に調査の協力をお願い申し上げます。

<ご協力いただきたいこと>

●あなたの診療情報(カルテに記載されている検査結果など)を使用させていただきます。

<ご協力にあたり、ご理解いただきたいこと>

●あなた個人に、お電話などで直接問い合わせることは一切ありません。

調査はあなたの主治医が、カルテに記載されている検査結果などを、所定の調査票に記入することにより行います。

●あなたの個人情報、厳重に管理します。

調査票には「性、生年月(日は除く)」を記載し、「カルテ番号、氏名、住所、電話番号」など、個人を特定できる情報は記載しません。

調査した結果は、日本補体学会のホームページや学术论文などで公表されることがあります。

●この調査に関してご不明な点がございましたら、主治医または下記までお問い合わせ下さい。

全国疫学調査事務局および研究内容に関する問い合わせ先

〒874-0838 大分県別府市大字鶴見字鶴見原 4546

九州大学病院別府病院 血液・免疫・代謝内科

木本泰孝

平成 29-31 年度厚労省難治性疾患等政策研究事業「原発性免疫不全症候群の診断基準および診療ガイドラインの確立に関する研究」研究班 (研究代表者 野々山恵章) 分担研究者

一般社団法人日本補体学会 副会長

堀内孝彦

(九州大学病院別府病院 血液・免疫・代謝内科)